

ニュースリリース

トヨタ・モビリティ基金、「Mobility for ALL」プロジェクトにて2026年度 のアイデア募集を開始

2026.04.03 **Mobility for ALL** **障害者移動支援** **公募・コンテスト** **ニュースリリース**



一般財団法人トヨタ・モビリティ基金(理事長:豊田章男、Toyota Mobility Foundation、以下「TMF」)は、「Mobility for ALL」プロジェクトにて2026年度のアイデア募集を開始しました。

「Mobility for ALL」は、障害の有無にかかわらず、誰もが移動を楽しみ、移動することで広がる新たな可能性に挑戦できる未来の実現を目指すプロジェクトです。^{※1} 2022年度の活動開始以来、国内外から44チームが参加し、集まったアイデアをカタチにし、障害のある方の協力のもとカイゼンを重ね、社会実装に向けて取り組んできました。^{※2}

2026年度は、2025年度に引き続き「日常の移動」と「スポーツ観戦」の2つのテーマにて、新たなアイデアを募集します。

採択されたチームには、それぞれの課題や状況に応じた伴走支援と、障害のある方とともに
 行う実証の機会等を提供します。さらに、チーム間の交流会や展示会への出展、メディアを通
 じた発信を行い、社会実装を推進します。

テーマ	日常の移動	スポーツ観戦
募集内容	普段から生活する場所/場面での課題解決や、移動のワクワクを感じられるようなアイデア	障害の有無にかかわらず、スポーツを見て、応援して、一緒に楽しむことができるアイデア
募集コース	成長支援コース：各チームに寄り添った伴走支援や活動資金を提供	
	—	実証機会提供コース(26年度新設): 社会実装を加速させるため、障害のある方とともに実証実験を行う機会を提供
募集期間	成長支援コース：4月1日(水)から4月19日(日) 実証機会提供コース: 4月1日(水)から6月14日(日)	

「Mobility for ALL」プロジェクト公募ページはこちら

以上

関連リンク・参考資料

※1 [「Mobility for ALL」プロジェクトの活動内容ページ](#)

※2 [過去の活動チームの紹介](#)

お問い合わせ

トヨタ・モビリティ基金 担当:木下

[お問い合わせフォーム](#)

トヨタ自動車は創業以来、お客様、ビジネスパートナー、従業員、そして地域社会等、全てのステークホルダーを尊重しながら、自動車を通じた豊かな社会づくりを目指して事業活動を行なっています。そして、より公益的な活動を行うことを目的に、2014年8月、TMFを設立しました。TMFでは、モビリティを通じた豊かな社会づくりへの貢献に向けて、世界中で移動課題への対応をはじめとした幅広いプロジェクトに取り組んでいます。



TMFは、幅広いプロジェクトを通じて培った技術やノウハウを活用し、多様なパートナーとの協議を通して、国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)の考え方にも沿った活動を進め、持続可能な社会の実現に向けて貢献していきたいと考えています。